

# 流通とS C・私の視点

2018年10月8日

視点(2222)

経済における需要創出のメカニズム!!

(流通経済編)

流通経済の視点から経済における需要創出のメカニズムを概念的に要約しました (GDP & GNI の融合パターン)。

	主 体	内 容
(通貨量の調整による需要創出) マクロ経済	金融政策	①量的金融緩和による通貨量の増加に伴う潜在的需要創出 ・マネタリーベースの通貨量の増大 ・中央銀行の有価証券の直接・間接の買い取りによる通貨量の増大 ②質的金融緩和による通貨量の増加に伴う潜在的需要創出 ・金利の低下による融資の増大 ・金利の低下による投資の増大
	財政政策	①公共投資と財政支出 (政府支出) に伴う需要創出 ・政府の公共投資の増加 ・政府の経費 (人件費及び消費) 支出の増加 ②減税による企業及び個人の潜在的需要創出 ・企業のキャッシュフロー増加による投資及び経費 (人件費及び消費) の増大 ・企業の収益向上による賃金や配当等の支出の増大
(グローバル化による需要創出) セミマクロ経済	国際政策	①貿易収支 (輸出と輸入) の向上による外資保有増加と企業収益増加に伴う潜在的需要創出 ②輸出増加による国内産業の活性化と高収益化による潜在的需要創出
	所得収支	①直接投資収益 (海外子会社からの配当金、利子、持分利益等) の増加による潜在的需要創出 ②証券投資収益 (有価証券の配当・利子及び売買収益) の増加による潜在的需要創出
(消費と投資支出による需要創出) ミクロ経済	企業施策	①企業の民間設備投資増加による需要創出 ②企業の経費 (人件費や消費支出) の増加による需要創出 ③企業の配当金や利息や自己株式取得の再配分増加による潜在的需要創出 ④企業のM&Aや有価証券・不動産投資増加による潜在的需要創出
	個人行動	①個人の賃金所得増加による需要創出 ②個人の資産効果の増加 (有価証券高、配当・利息増、不動産の売却益増) による潜在的需要創出 ③民間住宅投資支出増加による需要創出 ④個人の預貯金の投資支出への変換増加による潜在的需要創出

需要創出は、直接GDP (あるいはGNI) の増加に影響を与えることが可能です。潜在的な需要創出はマクロの通貨量の増大や有価証券や不動産の値上がり益や外貨量の拡大のような資金量の増加は直接的にはGDPの拡大には影響せず、それらが「投資支出」や「経費支出 (人件費や消費支出)」と結びついた時に初めて需要創出が起こります。

また、これらの需要創出は、次の年次及び近未来へと繋がって増殖型好循環経済になることにより、GDP (あるいはGNI) は成長し、活力のある経済国家となります。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>  
代 表 六 車 秀 之